

産業廃棄物処理計画書		令和4年6月16日
愛知県知事 殿	提出者 住所 愛知県江南市上奈良町豊里107番地 氏名 永井建設工業株式会社 代表取締役永井敦基 電話番号 0587-54-8804	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	永井建設工業株式会社	
事業場の所在地	愛知県江南市上奈良町豊里107番地	
計画期間	令和4年4月1日	～ 令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①	事業の種類	総合建設業
②	事業の規模	5億5千万円
③	従業員数	20人
④	産業廃棄物の一連の処理の工程	1 舗装工事現場等では、アスファルト塊・舗装切断汚泥が発生 2 一般土木では、構造物取壊しにて、アスファルト塊・コンクリート塊・金属くず・混合廃棄物が発生 3 下水道工事等では、舗装切断汚泥・アスファルト塊・コンクリート塊が発生 ※アスファルト塊・コンクリート塊・舗装切断汚泥・金属くず等は、委託運搬業者再資源化施設を有する中間処理業者に委託します。混合廃棄物についても選別を有する廃棄物処理業者に委託します。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項						
(管理体制図)						
工務部長(廃棄物処理総括責任者)						
↓						
工務部 工事現場管理責任者(産業廃棄物処理責任者)						
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	【前年度(令和3年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	がれき類 アスコンガラ	がれき類 コンクリートガラ	汚泥	木くず	鉄くず
	排出量	4992.00t	210.00t	30.00t	15.00t	10.00t
(これまでに実施した取組)						
・発生量については、受注により増減が比較できないが、発生において再生利用や中間処理における減量をすすめている。 ※施工計画書提出時に現場代理人と工事部長が内容確認。						
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	がれき類 アスコンガラ	がれき類 コンクリートガラ	汚泥	木くず	鉄くず
	排出量	5000.00t	500.00t	15.00t	20.00t	10.00t
(今後実施する予定の取組)						
・発生量は、受注高、工種に依り定めにくいので、現状把握とします。 ・抑制については、受注工事全体に対して削減に力を入れて実施する。 ※受注時に、建設リサイクル法に基づく再生資源利用促進該当品目、数量については発注者に確認し予定通りのリサイクルを実施して無駄な資源利用を減らす。						
産業廃棄物の分別に関する事項						
(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)						
・現場作業員の生活系廃棄物(生ゴミ、新聞等一般廃棄物)は直接工事から排出						

①現状	<p>される廃棄物を分別。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再資源化95%以上を目標に、現場パトロール時に分別状況を確認</li> </ul>
②計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がれき類(アスコンがら・コンクリートがら)、廃プラ、木くず・金属くず等の再生可能な品目は分別を徹底。</li> <li>・工事に依り混合廃棄物が発生する事も有るので、分別可能な混合廃棄物は出来る限り減らす事を目標とする。</li> </ul>

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度(令和3年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用をおこなった産業廃棄物の量	0.00t	0.00t
	(これまでに実施した取組)		
実施していません。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用をおこなった産業廃棄物の量	0.00t	0.00t
	(今後実施する予定の取組)		
実施する予定はありません。			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度(令和3年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00t	0.00t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00t	0.00t
(これまでに実施した取組)			
実施していません。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00t	0.00t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00t	0.00t
(今後実施する予定の取組)			
実施する予定はありません。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
①現状	【前年度(令和3年度)実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量	0.00t				0.00t
	(これまでに実施した取組) 実施していません。					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋処分を行う産業廃棄物の量	0.00t				0.00t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はありません。					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度(令和3年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	がれき類 アスコンガラ	がれき類 コンクリートガラ	汚泥	木くず	鉄くず
	全処理委託量	4992.00t	210.00t	30.00t	15.00t	10.00t
	優良認定処理業者への処理委託量					
	再生利用業者への処理委託量	4992.00t	210.00t	30.00t	15.00t	10.00t
	認定熱回収業者への処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					
(これまでに実施した取組) ・がれき類(アスコンガラ・コンクリートガラ)、汚泥、木くず等は再生資源化施設を有する処理業者に委託をしている。混合物についても、選別を有する処理業者に委託をしている。						

		【目標】				
産業廃棄物の種類		がれき類 アスコンガ	がれき類 コンクリートガ	汚泥	木くず	鉄くず
②計画	全処理委託量	5000.00t	500.00t	15.00t	20.00t	10.00t
	優良認定処理業者への処理委託量					
	再生利用業者への 処理委託量	5000.00t	500.00t	15.00t	20.00t	10.00t
	認定熱回収業者へ の処理委託量					
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量					
		<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受注上、舗装修繕工事、下水復旧工事等の工事によるがれき類(アスコンガ・コンクリートガ)が主であるので、中間処理にて再生資源化が来ていますが、他の工事受注時に発する廃棄物においても、特に混合状態で排出する時は、的確に分別すれば再生利用が可能な物も多いので、分別の徹底により削減し、更に中間処理における減量を目指します。</li> <li>・鉄鋼類については、現場にてモルタル等を付着させて金属くずにしない様に取扱いに注意します。</li> </ul>				
※事務処理欄						